

2025年9月25日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として助け合いの精神のもとに、継続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指しています。

その中で、北海道信用農業協同組合連合会（以下、「当会」といいます。）は、協同組合組織の農業専門金融機関として、会員 J Aとその構成員である組合員の経営と生活の向上を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与していくこと、また、地域金融機関として、組合員等の利用者ニーズに対し J Aと一体になって金融サービスを提供することにより、農業およびその関連産業の振興、地域社会の活性化に貢献することを経営理念に掲げています。

当会では、この理念のもと「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

北海道信用農業協同組合連合会

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供(1)

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

当会は、お客さまに提供する金融商品について、特定の投資運用会社に偏ることなく、当該商品を組成する投資運用会社においてプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認し、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。

なお、当会は金融商品の組成に携わっておりません。

本項に基づく取組事項	2024年度 of 取組状況
①JAバンク(全国)では、お客さまにとって最善の提案を目指し選定基準を設定のうえ金融商品を選定しています。当会においては、さらに審査を行い、より長期投資に重きを置いた商品を選定しています。	JAバンク(全国)は、お客さまの長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を提供することを目的として、2019年4月に商品ラインアップを抜本的に入替えし、JAバンクセレクトファンドを導入しております。また、資産運用会社におけるプロダクトガバナンスに関する取組みを把握し、適切な事業者や商品選定を実施しております。当会においては、以上のことを踏まえ、さらに審査を行ったうえで取扱い商品を決断しております。
②JAバンク(全国)では、商品ラインアップについて継続的に上記選定基準のチェックを行い、ラインアップの見直しを行うこととしております。	セレクトファンド選定にあたっては、「JAバンク市場性金融商品開発・選定規則」に定めた商品性等のチェック項目や、外部評価機関による定性評価、類似ファンドと比較した投資効率や手数料水準等の定量的な評価を実施しており、選定後は半期ごとの定期モニタリングを実施して、ファンドの追加・入替等を行っております。また、当会においても、全国でのモニタリング結果を踏まえ、年1回、取扱い継続の妥当性について確認を行っております。

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供(1)

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

本項に基づく取組事項	2024年度の取組状況
③JAバンク(全国)では、運用会社・販売会社全体でお客さまの最善の利益を実現するため、金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供するなど情報連携を行います。	投資運用会社との情報連携については、2025年度中にJAバンク全体の取引データをとりまとめ、顧客属性や販売状況等に関する情報連携を開始する予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	4 (前年度末：4)	6 (前年度末：6)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供(1)

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、3、4、5、6、7)】

当会は、お客さまの金融知識・経験・財産・ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご説明・ご提案いたします。

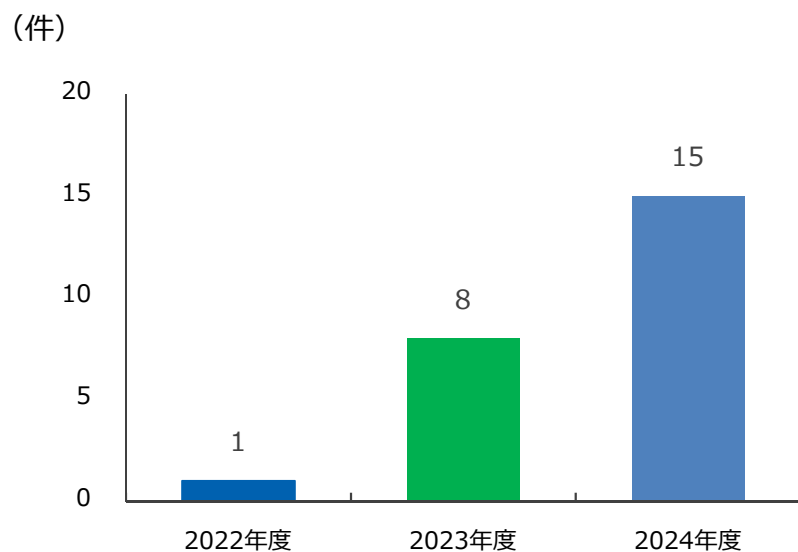
本項に基づく取組事項	2024年度の取組状況
④お客さまのお考えを丁寧にお伺いし、投資のご経験や知識、年齢、収入、資産状況および投資目的を踏まえ、属性・適合性を判断したうえで、最良・最適な商品をご提案し販売します。	- 商品販売に際しては、「適合性チェックシート」により、お客さまから受領した意向確認書に基づき適合性判定を行い、役席者の承認を得たうえで、商品提案を実施しております。また、お客さまへの提案経緯等について「面談記録」を作成しております。 2024年度、「投信つみたて」契約は15件の実績となりました。なお、当年度における「毎月分配型ファンド」の販売実績はありません。
⑤特にご高齢のお客さまに対しては、役席者の同席やパンフレット等を用い理解度を十分に確認のうえ慎重に対応いたします。	高齢者(75歳以上)への取引については、事務手続に留意事項を明記したほか、2021年4月より自主点検チェック項目に、高齢者取引比率の項目を設定し、高齢顧客に対する勧誘姿勢や説明義務、適切な対応実施について確認しております。なお、2024年度において、ご高齢のお客さまに対する提案実績はありません。

I.取組状況

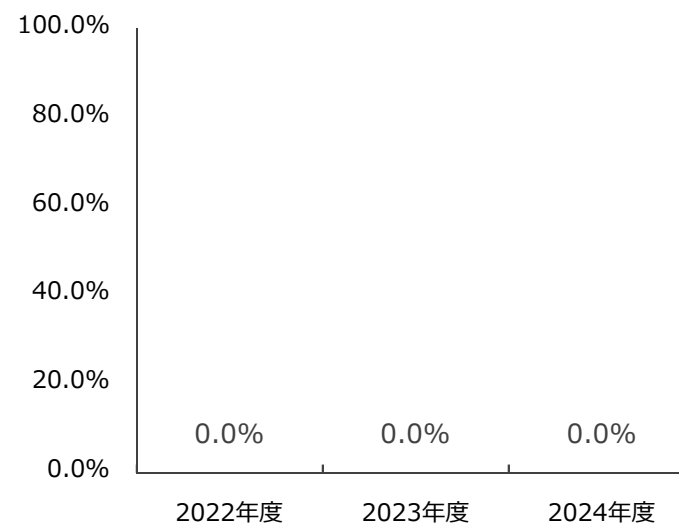
2 お客様本位のご提案と情報提供(1)

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、3、4、5、6、7)】

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供(2) 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

当会は、お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。

本項に基づく取組事項	2024年度の取組状況
⑥商品のリスク・特性につきましては、リスク・リターンの程度やサービス内容の複雑さ、情報の重要度に配慮し、「重要情報シート」等を用いわかりやすく誠実に情報を提供するように努めてまいります。	- JAバンクとして2022年4月から重要情報シートを導入しており、同シートを用いて、お客さまの取引経験や金融知識を考慮のうえ、商品やサービス内容にかかる重要な情報をわかりやすく提供しております。 - また、2023年4月から開始した非対面取引（「JAバンクアプリ」に、投信口座開設・投信取引機能を追加）を選択されたお客さまに対しても、JAバンクとして電子交付機能の改善等、わかりやすく情報提供するための仕組み・環境の充実に取り組んでおります。

I .取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供(3) 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

当会は、お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

本項に基づく取組事項	2024年度の取組状況
⑦お客さまにご負担いただく手数料がどのサービスの対価であることについては、丁寧かつ分かりやすい説明を行うよう努めてまいります。	⑥のとおり。 - また、お客さまにご負担いただく手数料がどのサービスの対価であることについても、「契約締結前交付書面」、「購入時手数料早見表」を用いて丁寧かつ分かりやすく説明を行っております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理(1) 【原則3本文および(注)、原則4、原則5(注4)】

当会は、お客さまへの商品の選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、当会が定める「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

本項に基づく取組事項	2024年度の取組状況
⑧当会が定める「利益相反管理方針」等に基づき、利益相反のおそれのある取引の類型やその特定の方法、管理方法を定めること等により、お客さま本位の業務運営が維持されるよう利益相反管理の態勢を維持してまいります。	- 当会は、「利益相反管理方針」に基づき、利益相反のおそれのある取引について、利益相反管理統括部署があらかじめ類型化し、各部署等において当該取引が類型化された取引に該当するか確認し、利益相反のおそれのある取引に該当すると判断した場合には、利益相反管理統括部署に報告しています。また、特定した利益相反のおそれのある取引の管理方法を定め、お客さまの保護を適正に確保しています。 - 当会ホームページに、「利益相反管理方針の概要」を掲載しております。

I.取組状況

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築(1)

【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

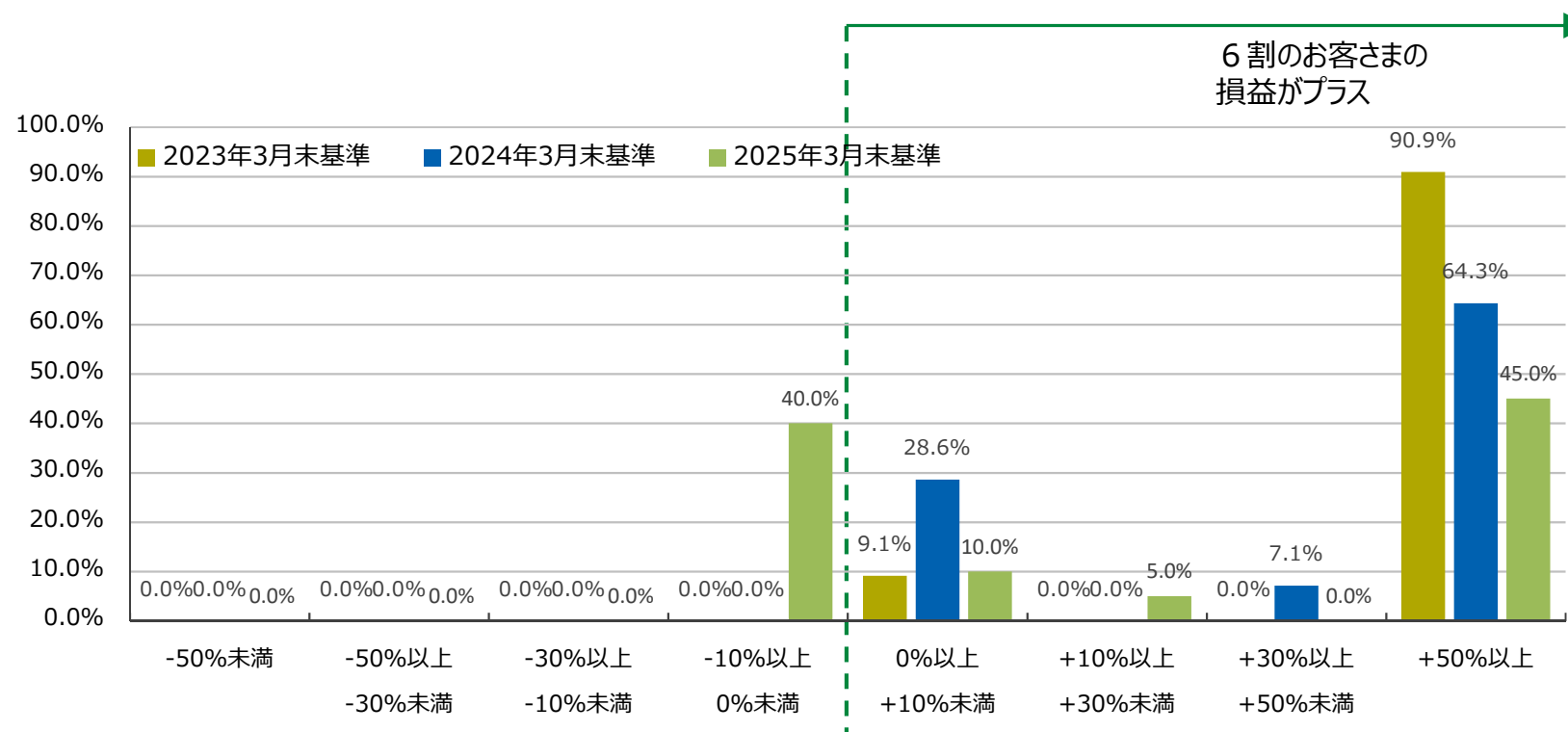
当会は、研修や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

本項に基づく取組事項	2024年度の取組状況
⑨当会では、役職員の「行動憲章」を定め、お客さま本位の業務運営を行ってまいります。	行動憲章の「質の高いサービスの提供」の項目にお客さま本位のサービス提供により、お客さまのニーズに応えることを定め、役職員に対して遵守を求めています。
⑩研修や金融に関する資格取得の推進を通じ、商品や投資環境に関する知識・スキル強化を図り人材育成に努めてまいります。	証券外務員の養成および資格既取得に対する定期的eラーニング研修や、FP等関連する資格取得の奨励を通じて、豊富な金融知識を有する人材育成に取り組んでいます。 証券外務員登録者数:77名 eラーニング当年度受講者数:11名 FP2級:87名、FP3級:31名

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では6割のお客さまで損益がプラスとなった一方で、4割のお客様においては10%以内のマイナスという結果になりました。

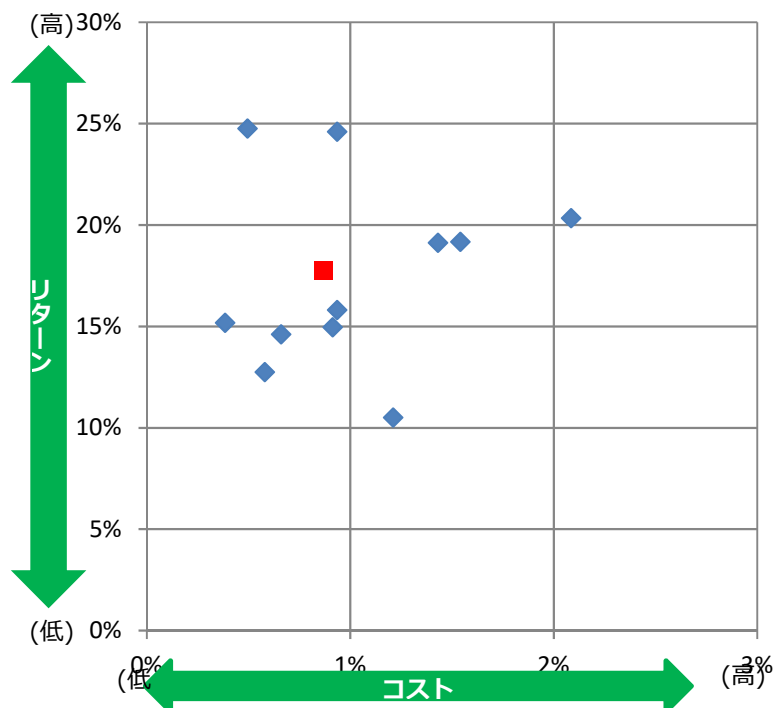


Ⅱ.比較可能な共通K P I

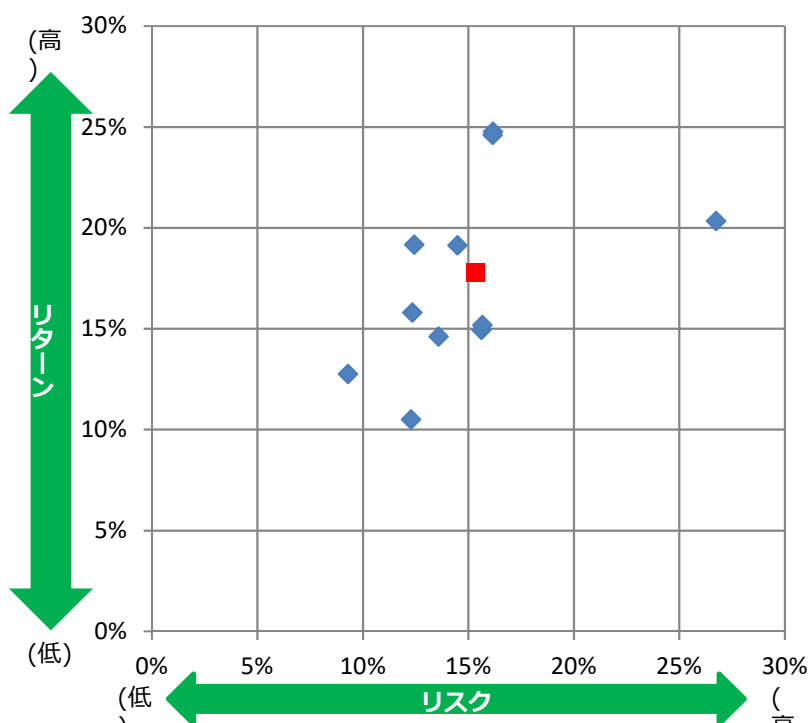
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.87%、平均リスク15.36%に対して、平均リターンは17.76%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



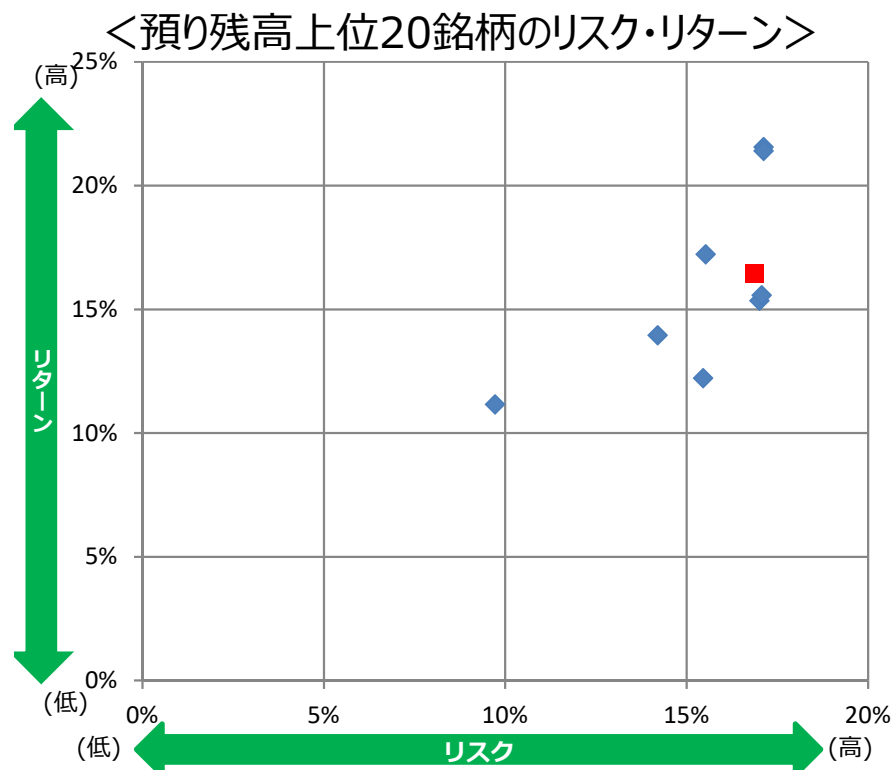
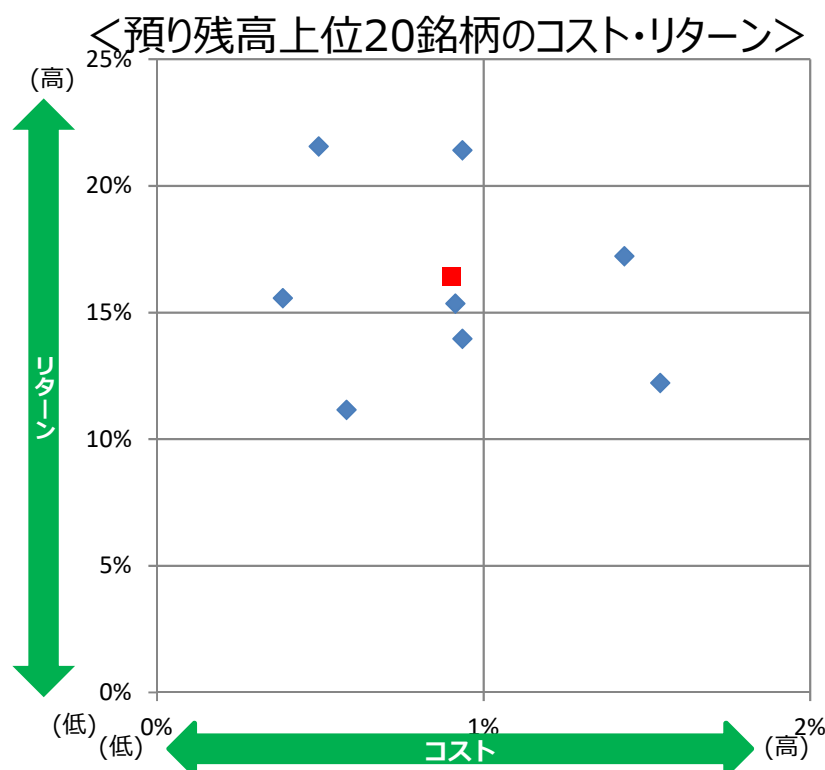
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、10ページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.90%、平均リスク16.89%に対して、平均リターンは16.42%でした。



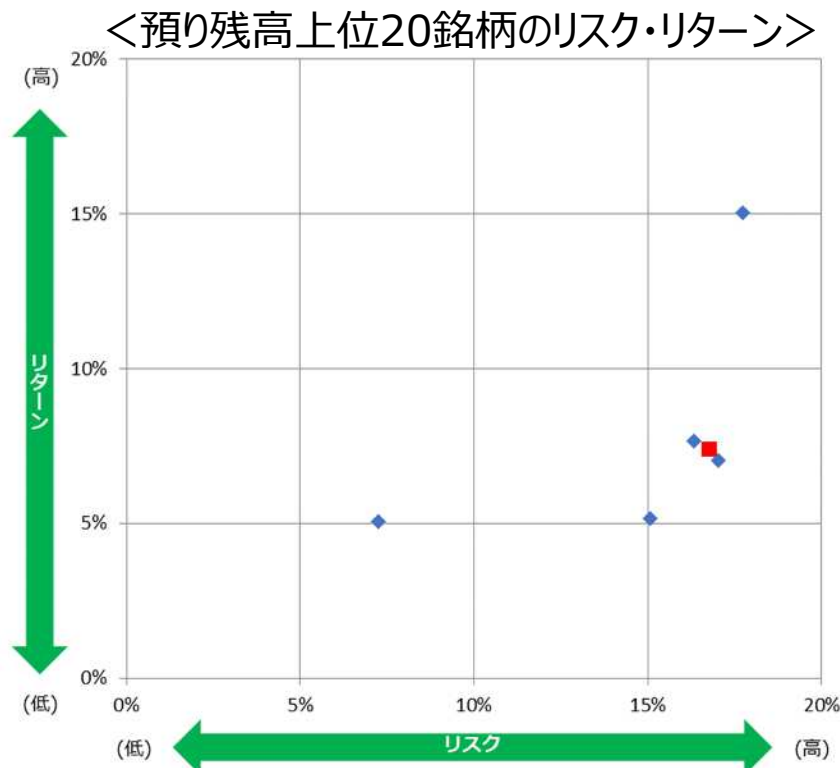
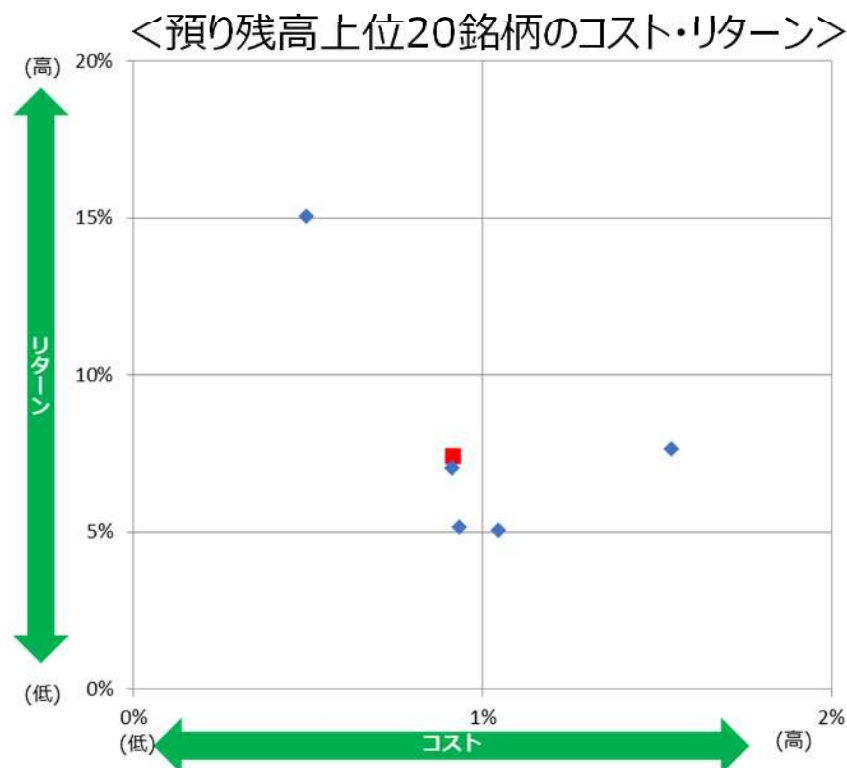
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、10ページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク16.75%に対して、平均リターンは7.41%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
4	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
5	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
7	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
8	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	19.18%	12.42%	1.54%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
10	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.82%	12.33%	0.94%
11	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		17.76%	15.36%	0.87%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
4	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne（株）	12.22%	15.44%	1.54%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
6	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.95%	14.20%	0.94%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		16.42%	16.89%	0.90%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2	つみたてNIISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.65%	16.33%	1.54%
4	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
5	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.41%	16.75%	0.92%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。